

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	3
2. 大学等名	立正大学
3. テーマ	I. アクティブ・ラーニング
4. 取組学部等名	地球環境科学部
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	（395文字）
<p>本事業では、講義科目と実習科目においてアクティブ・ラーニングを行うための教育手法の改善とその実践を主眼とし、地域社会に貢献できる人材育成を目的とする。大教室多人数講義科目においてタブレットPCを用いて双方向授業を行い、学生の主体的な学修姿勢を引き出して教育効率を向上させる。そのために必要な予習用動画教材を作成し反転授業を実施する。一方で、フィールドワーク実習科目が多い地球環境科学部において、地域連携を軸としたアクティブ・ラーニングを積極的に導入し、学生の考察力やコミュニケーション能力を高める手法を開発する。これらの計画を円滑に遂行させるため、大学全体のICT環境や教育システムを改善するほか、リアル教材を収集・活用し、教職員と学生が一体となって大学教育の新しい在り方を模索する。動画教材をHP上で公開し、リアル教材を近隣学校へ無償貸与するなど、本事業は広く社会へ還元できるものである。</p>	